

第5学年 教科「おおたの未来づくり」学習指導案

1 単元名

「東三米、収穫大作戦！！」【Aものづくり】（35時間扱い）

2 単元目標

- ・米作りに必要な知識・技能を身に付けることができる。
- ・東三小に米作りの仕方を引き継いでいくために、必要な情報を収集・整理・分析しながら、情報発信することができる。
- ・パルシステムの方との関わりを大切にしながら、米作りやスライド作りを試行錯誤しながら考え、主体的に取り組もうとする態度を養う。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
コンセプト	①相手意識に立ったコンセプト設定の意味を理解し、ものづくりのコンセプト設定に必要な知識・技能を身に付けている。	①授業パートナーから収集した情報を整理・分析し、米作りに関するコンセプトを設定している。	①コンセプトを設定するために、講話を聞いたり、米作りの体験をしたりしている。
デザイン	①コンセプトに基づいた米作りをするために必要な知識・技能を身に付けている。 ②4年生に米作りの仕方やコツを伝えるために必要な知識・技能を身に付けている。	①コンセプトに合っているかを実現可能性などの視点を踏まえて考えている。 ②互いのスライドを見合ったり、フィードバックを受けたりしたことを活かし、試行錯誤を重ねて内容を改善している。	①授業パートナーのフィードバックを受け止め、改善や必要な情報収集に協働的に取り組もうとしている。
クリエイション	①4年生に分かりやすいスライドを作成するために必要な知識・技能を身に付けている。	①4年生の立場に立ち、スライド作りや発表準備等に取り組み、発信している。	①授業パートナーや4年生からの評価等を受け止めて、取組を振り返り、価値や改善点を見出そうとしている。

4 単元について

(1) 単元設定の理由

本単元では、総合的な学習の時間等で取り組んできた「米作り」の体験をもとに、下級生に対してその魅力や工夫、手順を伝える活動を行う。児童は、田起こしから収穫までの一連の体験を通して、自然と向き合いながら、友達と協力して一つの成果をつくり上げてきた。こうした「ものをつくる」過程には、計画や工夫、困難の克服といった学びが詰まっており、まさに“ものづくり”としての価値がある。また、この体験を下級生に伝える場を設けることで、自らの体験を振り返り、言語化し、相手意識をもって伝える力を育むことができる。これにより、国語科における「目的や相手に応じて分かりやすく話す」力を実践的に養うとともに、ICTの活用を通して情報を整理し表現する力も育成する。以上のことから、本単元では米作りという「ものづくり」の成果を言語表現に結びつけ、「伝える力」として高めることを目指す。

(2) 授業パートナーの連携

企業名	依頼内容	資質能力の育成にどんな効果が期待できるか
パルシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・米作りについての講話、バケツ稲(田起こし、代掻き、苗植え)体験の指導 ・米作りに関するフィードバック ・米の収穫の出前授業 ・4年生に向けた米作りに関する発信内容のフィードバック 	<ul style="list-style-type: none"> ・パルシステムの方から講話や米作り体験の指導をしてもらうことで米作りに関する知識を深める。 ・米作りに関する質問に答えてもらうことで、米作りに関する知識をより一層深めることができる。 ・発信内容についてフィードバックをもらうことで、作成したスライドを改善しようという意欲につなげることができる。

5 児童の実態

略

6 指導の手だて

(1) 継続性

「コンセプト」では、

自分たちの手で米作りに取り組み、たくさん収穫できるようにするために必要なことについて体験を通して考え、その経験を下学年に伝えることまでの見通しをもつ。バケツ稲の体験学習を通して、米作りの一つひとつの行程の大切さや大変さを知り、収穫まで活動を継続していこうとする意欲を育む。

(2) 試行錯誤

「デザイン」では、

- ①収穫までに必要な作業について調べたことをまとめるワークシートは、調べたことで新たな疑問が生まれるようにする。米作りの過程で発生するいろいろな事象に対する対応の仕方をオンライン質問して解決することで、米作りに必要な知識・技能を身に付けることにつなげていく。
- ②米作りに必要な知識・技能を分かりやすく伝えるために、伝える内容を学年内での発表→フィードバック→スライド修正、パルシステムの方からのフィードバック→スライド修正、と試行錯誤しやすい学習過程にした。

(3) 思考の振り返り

「クリエーション」では、

相手を意識して伝える活動を行い、その視点で活動を振り返る。4年生にフォームでアンケートを取り、その結果も踏まえて振り返りをする。また、以下の視点から振り返るようにする。

- ・4年生の感想からどのように思ったか。
- ・1年間の米作り・スライド作りを通して学んだこと、身に付いた力。
- ・その力を今後どのように生かしたいか。

7 指導計画

時	学習過程	○主な学習活動 ★指導の手だて〈具体的手だて〉	◆評価規準【観点】 (方法)

1 ↓ ↓ ↓	コ ン セ プ ト	1～2 ○パルシステムの出前授業で米作りについて学び、田起こし、代掻き、苗植えを体験する。 ★〈継続性〉 ◇パルシステム 出前授業	◆【主体的に学習に取り組む態度】 ① (観察・ワークシート)
		3 ○体験から学んだことをワークシートに書き、伝え合う。	◆【思考・判断・表現】① (観察・ワークシート)
		4～6 ○家庭科の学習で米の炊き方を学ぶ。	◆【知識・技能】① (観察・ワークシート)
		7～11 ○社会科「米づくりのさかんな地域」の学習で、米の生産の工程や人々の協力関係、技術の向上などについて調べる。 ○出前授業で配布された資料やインターネットなどを使って、米作りについて調べる。 ★〈継続性〉	

1 2 3 0 (本時)	デザイン (本時)	<p>12～13</p> <p>○米を育てて出てきた疑問を出し合う。</p> <p>★〈試行錯誤〉①</p>	<p>◆【知識・技能】① (観察・ワークシート)</p>
		<p>14～15</p> <p>○Zoom で米作りに関する質問にパルシステムの方に答えてもらい、メモを取りながら話を聞く。</p> <p>★〈試行錯誤〉①</p> <p>◇パルシステム オンライン (Zoom)</p>	
		<p>16～18</p> <p>○パルシステムの方に教えていただいたことを基にバケツ稲のお世話(害虫対策、すずめ対策など)をしたり、生育状況を観察したりする。</p> <p>★〈試行錯誤〉①</p>	<p>◆【思考・判断・表現】① (観察・ワークシート・スライド)</p>
		<p>19</p> <p>○稲を刈り、束ねて干す作業を行う。</p>	<p>◆【主体的に学習に取り組む態度】① (観察・ワークシート・スライド)</p>
		<p>20～21</p> <p>○パルシステムの出前授業で脱穀・粃摺りを体験する。</p>	
		<p>22</p> <p>○体験から学んだことをワークシートに書き、伝え合う。</p>	
<p>23～27</p> <p>○グループごとに伝える内容を話し合う。原稿を作成し、それを基にスライドを作成する。</p>	<p>◆【知識・技能】② (観察・スライド)</p>		
<p>28</p> <p>○他学級への発表(1・2組、3・4組でペアクラス)を行い、良かった点、改善点を伝え合う。</p> <p>29</p> <p>○他学級からのフィードバックをもとに自分たちの発表を改善する。</p> <p>★〈試行錯誤〉②</p>	<p>◆【思考・判断・表現】② (観察・ワークシート・スライド)</p>		
<p>30【本時】</p> <p>○パルシステムの方からフィードバックをもらい、自分たちの発表を改善する。</p> <p>★〈試行錯誤〉②</p> <p>◇パルシステム</p>			

3 1 3 5	ク リ エ イ シ ョ ン	31~32 ○4年生への発信に向けて、作成したスライドの確認、発表の練習を行う。	◆【知識・技能】① (観察・ワークシート・スライド) ◆【思考・判断・表現】① (観察・ワークシート・スライド)
		33 ○米作りについて4年生へ発信する。	
		34~35 ○4年生からの感想をもとに自分たちの学びを振り返る。 ★〈思考の振り返り〉	◆【主体的に学習に取り組む態度】 ① (観察・ワークシート・スライド)

8 本時の指導（全35時間中の第30時）

(1) 目標

パルシステムからのフィードバックを受け、そのフィードバックをもとにスライドや発表内容の改善や修正を試行錯誤して取り組む。

(2) 展開

	○主な学習活動 ・ 予想される児童の反応	◆評価規準【観点】（方法） ★指導の手だて〈具体的手だて〉
導入 5分	○本時のめあてと学習内容を確認する。	★パルシステムの方からフィードバックをもらうこと、後で直接、質問できることを伝える。
	パルシステムの方からフィードバックをもらい、自分たちの発表を改善しよう。	
展開 30分	○パルシステムの方から学級代表のプレゼンテーションにフィードバックをもらう。 ○学級代表のプレゼンテーションの資料に、パルシステムの方からの助言をメモする。 ・4年生に、○○のことも伝えよう。 ・○○について、よりくわしく説明しよう。 ○フィードバックをもとに、グループ毎にプレゼンテーションの内容や発表内容の修正をする。	★学級代表のプレゼンテーション内容について、フィードバックしてもらったことを、自分たちの発表に生かしていくことを確認する。 ★事前にパルシステムの方と打ち合わせを行い、主旨に合うフィードバックになるようにする。 ★パルシステムの方に学級に入ってもらったとき、児童が直接質問したり、助言をもらったりできるようにする。 ★声をかけ、発表内容でパルシステムの方に質問した方が良さそうなものは、質問をするように促す。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">米作り前半グループ</div> 1組1、4、6、7班 〈取り組み〉 田起こし、代掻き、水やり、中干、雑草抜き、夏休みのお世話 〈課題〉 水の量、白くなった米、緑色の米	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">米作り後半グループ</div> 1組2、3、5、8班	

	<p>〈取り組み〉 ネットかけ、稲刈り、乾燥、脱穀、籾摺り</p> <p>〈課題〉 鳥や虫対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スライドのこのページはもう少しくわしく説明しよう。 ・この育て方は正しいのかな。パルシシステムの方に聞いてみよう。 	<p>◆フィードバックを受けたことを活かし、試行錯誤を重ねて内容を改善している。</p> <p>【思考・判断・表現】 (観察・ワークシート・スライド)</p>
<p>振り返り 10分</p>	<p>○学習の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米作りのコツが伝わるように注意した方がよいところを加え、プレゼンテーションを改善することができた。 ・課題に対する解決策についてより具体的な説明を加えることができた。 <p>○学習の感想をパルシシステムの方に伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィードバックを受けたことで、くわしく説明した方がよいところが分かり、プレゼンテーションを改善することができた。 ・パルシシステムの方に質問したことで、より分かりやすい説明を考えることができた。 	<p>★スライドの発表内容がどのように変わったかを振り返ることができるようになる。</p> <p>★振り返った内容や本時の取り組みについて価値づける。</p>

(3) 授業観察の視点

- ・フィードバックを受けて、スライドを修正する活動はスライドの内容を深めるのに効果的であったか。
- ・フィードバックを受けたことを活かし、試行錯誤を重ねて内容を改善する姿が見られたか。